

## 課題

## 「わが国の金融・経済への提言」

わが国の金融・経済・社会を取り巻く環境の変化、情報通信技術の発展等を踏まえた様々な観点から、わが国の金融・経済に関する提言を募集します。

具体的なテーマの設定は自由です。過去の応募論文テーマを例示しますと、次のとおりです（より詳しく知りたい方は、日銀グランプリWebページで公開している過去の入賞論文をご覧ください）。

- 起業支援、地域経済活性化、中小企業に対する金融円滑化、社会の持続可能性の向上、といった観点からの新たな金融サービス
- 銀行・証券等の将来のあり方・新たなビジネスモデル
- 国際的な金融危機の発生等を踏まえた金融システム安定策
- 日本銀行の政策や業務をより効果的に行うための施策
- 金融リテラシー（生活設計や金融商品の選択等を適切に行うために必要となる金融知識・判断力）向上に向けた金融教育の方法

上記のほか、マクロ経済に対する提案など幅広いテーマでの応募をお待ちしています。金融を含まない実体経済のテーマも応募可能です。

## 募集要項

詳細は日銀グランプリWebページをご覧ください

[http://www.boj.or.jp/announcements/nichigin\\_gp/](http://www.boj.or.jp/announcements/nichigin_gp/)

## 応募資格

現在、大学（短大等を含む）に在籍の方（大学院生は除く）。2～4名1組のグループでご応募ください。

## 授賞内容

最優秀賞／1チーム（副賞：図書カード15万円）

優秀賞／2チーム（副賞：図書カード3万円）

敢闘賞／2チーム

特別賞／1チーム（副賞：図書カード3万円）

※決勝において、最優秀賞、優秀賞、敢闘賞を選出します。

※決勝進出チームの中で、日本銀行の政策や業務に関係の深い提言がある場合には、特別賞を授与することがあります。

※これらのほかに奨励賞を選出します。

## 応募締切

2018年9月30日（日）＜必着＞

## 応募形式

上記の「課題」を踏まえてテーマを設定のうえ、専用フォーム（日銀グランプリWebページに掲載）を使用してご応募ください。募集要項の内容を満たさない論文は選外となります。

## 応募後の日程



## 予選

## 【書類審査】

大会事務局の書類審査により、決勝進出チーム（5チーム程度）を選出します。

ポイント①＝現状の把握・分析的確性

ポイント②＝論旨および提言の論理性・説得性

ポイント③＝着眼点や提言の独創性・実効性

## 決勝

## 【プレゼンテーション・質疑応答】

2018年11月下旬にプレス公開で日本銀行本店にて決勝大会を開催します。論文内容のプレゼンテーション（15分程度）および審査員との質疑応答（15分程度）を実施のうえ、各賞を決定します。

ポイント④＝プレゼンテーションおよび質疑に対する応答の内容

※決勝の日程など詳細は、決定次第、日銀グランプリWebページで公表します。また、決勝会場までの交通費等は日本銀行が負担します。

## 審査員

日本銀行政策委員会メンバーおよび日本銀行外部の有識者を予定（計5名程度、審査員長は日本銀行副総裁を予定）。

## 注意事項

- 入賞論文の著作権は主催者（日本銀行）に帰属します。
- 論文（氏名、大学・学部名、小論文の内容等）、プレゼンテーション資料および決勝の模様（写真・動画）を日本銀行ホームページ・日銀グランプリWebページ等に掲載する予定ですので、予めご了承ください。
- 応募は未発表のものに限ります。また、二重投稿はご遠慮ください。
- 選考過程についてのお問い合わせには応じかねますのでご了承ください。
- 日銀グランプリWebページに「小論文作成上の留意点」を掲載していますので、必ずお読みいただいたうえでご応募ください。

## お問い合わせ先

日本銀行情報サービス局 総務企画グループ

Tel=03-3277-1609（土・日・祝日を除く10時～17時） E-mail=post.prd3@boj.or.jp

日銀グランプリWebページ

[http://www.boj.or.jp/announcements/nichigin\\_gp/](http://www.boj.or.jp/announcements/nichigin_gp/)

